

デジタル社会推進のメリットとデメリットについて

石田 成生 議員
(自由民主党 / 四日市市選出)



問 全国学力・学習状況調査では、スマートフォン等でのSNSや動画視聴が1日3時間以上と答えた小中学生の割合が全国平均を上回っています。学習端末が配置され、どこでも学習できる環境が整ったことは望ましい一方、スマートフォン等を長時間使用している児童生徒の多さは憂慮すべきだと考えますが、県はどのような対応をとっているのかお聞かせください。

答 県では、児童生徒が使用時間やルールを設定し、振り返ることができるチェックシートの利用の促進や、健康面に留意した使用を啓発するリーフレットの提供を行っています。今後も、市町教育委員会やPTAと意見交換を重ね、児童生徒がスマートフォン等の適切な使用方を身につけていけるよう取り組んでいきたいと考えています。



その他の質問事項
○カーボンニュートラルの進捗管理について

○保育園送迎バス等の子どもの置き去り防止について
ほかに



▲一般質問 (石田成生 議員)

新型コロナウイルス感染症対策について

舟橋 裕幸 議員
(新政みえ / 津市選出)



問 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が拡大した場合、外来診療能力が不足するとの想定も示されていますが、県の対応をお聞かせください。

答 また、令和6年度から始まる第8次医療計画の策定に向け、ウィズコロナ、アフターコロナにおける地域医療構想をどのように見直すのか、県の考えをお聞かせください。



問 医療機関への協力依頼や自己検査体制の拡充等外来医療の逼迫を防止するための対策により、同時流行のピーク時にも適切に受診できる体制が確保できる見込みです。

答 また、コロナ禍における医療提供体制の在り方が課題となったため、各医療機関が担うべき役割や機能を引き続き協議し、持続可能な医療提供体制の構築を進めます。

その他の質問事項
○令和5年度組織改正について

○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について
ほかに



▲一般質問 (舟橋裕幸 議員)

2025年大阪・関西万博に向けた取り組みについて

木津 直樹 議員
(自由民主党 / 伊賀市選出)



問 大阪・関西万博は、2820万人(内インバウンド350万人)の来場が想定され、その経済効果は約2兆円と見込まれます。この万博を県の経済回復の起爆剤として位置づけ、これまで取り組んできた関西圏営業戦略の集大成として成果を発揮してください。また、万博の三重県ブースには、ぜひ松尾芭蕉を加えてください。知事の万博にかける意気込みを伺います。

答 来年のG7交通大臣会合や、2025年の大阪・関西万博、2027年のリニア中央新幹線東京・名古屋間の開通など、三重県にとって好機が続きます。この機に三重の魅力を発信し、多くの方に来県いただき、三重の経済成長を期するため、県内市町や関係団体、事業者の皆さんとしっかり連携して取り組んでいきます。



その他の質問事項
○空き家対策の推進について

○地域公共交通の活性化と再生について
ほかに



▲一般質問 (木津直樹 議員)

幹線道路網の整備について

三谷 哲央 議員
(新政みえ / 桑名市・桑名郡選出)



問 桑名市多度地域への企業立地は、桑名市の財政を支えるものであり、桑名地区全体の産業、経済の基盤になると考えられますが、工業団地へのアクセスが最大の問題となつていきます。工業団地へのアクセス道路であり地元の高い、県道御衣野下野代線と県道四日市多度線について、道路改良の現状と今後の見通しをお聞かせください。

答 両路線ともに、幅員が狭い箇所等があり大型車のすれ違いに支障をきたしていることから、これらを解消し工業団地へのアクセスの向上を図るために道路改良事業に着手しており、現在は用地測量と用地取得を進めています。今後も、引き続き桑名市や地元関係者の協力を得ながら、早期に用地取得が完了するよう取り組みます。



県道四日市多度線

その他の質問事項
○一見県政における人口減少対策とは?

○木曾岬干拓地の土地利用について
ほかに



▲一般質問 (三谷哲央 議員)

みえスタディ・チェックのCBTと一層の学力定着について

小林 貴虎 議員
(自由民主党 / 津市選出)



問 県は令和4年1月から、独自にCBT化したシステムで「みえスタディ・チェック」を実施していますが、CBT化によって、子どもたちの学力定着と教員の事務量削減にどのような効果があったのでしょうか。国が提供する同様のシステム「MEXCBT」への移行についての方針と併せて、県の考えをお聞かせください。

答 CBT化によって採点・集計や課題に対応した問題の準備等が自動化され、課題のある児童生徒への指導や、より分かりやすい授業の工夫・改善に注力できるようになりました。現行のMEXCBTには県のシステムが有する機能が一部備わっていないため、今後の機能追加の状況を確認しながら、移行を検討します。



その他の質問事項
○伊勢湾再生に向けた県土整備部による取り組みについて

○津駅周辺道路空間の整備について
ほかに



▲一般質問 (小林貴虎 議員)

用語解説

1 明かり区間

鉄道が走行する区間のうち、トンネル以外の区間のことです。

2 総合型地域スポーツクラブ

身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多目的)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

3 CBT

Computer Based Testingの略で、問題をタブレット等の学習端末に表示して、児童生徒が画面上で解答する調査方法のことです。

4 みえスタディ・チェック

学習内容の定着状況を把握し、各学校における個に応じた指導、授業改善を促進するために、平成26年度から三重県が独自に実施している学力向上策の一つです。

5 MEXCBT (メックビット)

児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアクセスメントができる「文部科学省CBTシステム」のことです。文部科学省が開発・展開を進めており、希望する全国の小・中・高等学校等で利用することが出来ます。

三重県議会の本会議等で用いられる議会運営用語の解説については、県議会ホームページの「用語解説」からご覧いただけます。



用語解説